

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2021年2月25日

事業所名：パンキッズ神戸放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習、室内活動等をする際には、仕切りを利用して自身のスペースが確保出来る様にしている	12名の回答のうち、お仕事等の都合で内覧できなかった2名の保護者様以外からは「はい」という回答をいただきました。	Instagramを利用して、教室内の活動や支援を毎週土曜日に更新して、見て頂ける様にしています。
	2 職員の適切な配置	保育士や専門職の職員を配置をして、支援の幅を利かせられる様にしている	12名の回答のうち、2名の保護者様から「わからない」との回答あり。それ以外は「はい」といただきました。	十分な職員を配置していますが、2名の保護者様から「わからない」と返答があったので適切な人員配置が出来ている事を日々記録します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内においてはバリアフリーなど問題なく整っているが、マンションの階段は手すりがあるが、危険がない様に日々気を付けている	12名の回答のうち、2名の保護者様から「わからない」1名の保護者様から「どちらともいえない」と回答をいただきました。	マンションの階段に関しては、危険がない様に声掛けや手をつないで、上り降りを致します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	必要な清掃活動は毎日行っており、新型コロナウイルス感染予防の為に、消毒等や予防ポスターの掲示も行っている	12名の回答のうち、1名の保護者様から「わからない」と回答をいただきました。	今後も感染予防と清潔な環境を提供出来る様に致します。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員ミーティングを日々行い、問題点の共有や解決までのプロセスを話し合っています。		今後、しっかりとミーティングを繰り返して、業務改善を行います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	職員6名、評価の内訳は「どちらともいえない」が3人で「はい」が3人でした。		外部からの評価は受けていません。必要の可否により、今後進めていきます
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員6名、評価の内訳は「はい」が4人で「わからない」が2名でした。		知識向上のための研修については、職員からも意見を取り入れて行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	お子様の課題や保護者様からのニーズを分析し、適切な支援計画書を作成しています。	12名の回答のうち、「はい」は11名で「わからない」は1名でした。	現状の評価と課題、ニーズをしっかりと共有させていただき、必要性を明確にできるよう提示しながら作成をしていきます
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	職員6名、評価の内訳は「はい」が4人で「どちらともいえない」が2名でした。		各児童の個性や状況を理解し、心身の成長を促せられる計画にしています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	項目、具体的な支援内容の欄を設け行っています。	12名の回答のうち、12名の保護者様が「はい」と、回答をいただきました。	評価やモニタリングをしっかりと把握して、より必要な支援内容を提示できるようにしていきます
適切な支援の提供 t (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画に沿った、支援を心掛けています。	12名の回答のうち、「はい」が12名でした。	毎日のミーティングで現状と目標の確認を行いながら進めていけるようにしていきます
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員6名、評価の内訳は「はい」6名でした。支援リーダーを中心に活動のプログラムを組み立てている		支援リーダーを中心に、チーム一丸となって、積極的に意見を出して行っています。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	職員6名、評価の内訳は「はい」4名で「どちらともいえない」が2名でした。		チーム一丸となって、各児童の成長を支援出来る様に取り組みます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	職員6名、評価の内訳「はい」が6人でした。	12名の回答のうち「はい」が12名でした。	変化のあるプログラムを今後も続けていけるようにしていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員6名、評価の内訳「はい」が6人でした。		朝礼時に必要事項等の確認や役割分担をはっきりさせています。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員6名、評価の内訳は「はい」3人で「どちらともいえない」が3人でした。送迎からの戻り時間が違う為に、全員での振り返り時間が取れていないが、情報共有は行っている。		朝礼時に情報の共有の徹底を行っていきます。欠席者のいる場合は職員連絡ノートを利用しています。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	職員6名、評価の内訳は「はい」が4名で「どちらともいえない」が2名でした。記録内容に関しては、他職員と情報を共有し記録しています。		日々の記録を正確に残して、支援の改善や検証に役立てていきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	職員6名、評価の内訳は「はい」5人で「どちらともいえない」が1名でした。		定期的に状況と目標の確認を行っていくことで、適切な時期での計画の見直しを図っていきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	職員6名、評価の内訳は「はい」5人で「どちらともいえない」が1名でした。		必要時には積極的に行っていきます
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要な児童の利用登録がありません		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要な児童の利用登録がありません		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	系列内の児童発達支援事業所からの児童に関しては、しっかり共有できているが、他機関の場合はご家族の意向や同意のある場合のみとしている		今後も、ご家族の意向や同意をもとにすすめていきます
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、該当年齢の利用者様がいません		必要時には、ご家族、学校等と連携し情報の提供を行っていきます
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員6名、評価の内訳は、「はい」2名「どちらともいえない」が4名でした。		職員のスキルアップの為に、必要な情報を積極的に開示します。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	職員6名、評価の内訳は「はい」2名で「どちらともいえない」が4名でした。	12名の回答のうち「はい」2名「どちらともいえない」が1名「いいえ」5名「わからない」4名でした。	保護者様から「機会があれば、保護者の交流にもなる」という意見もありましたので、今後積極的に機会を検討していきたいと考えます
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	職員6名、評価の内訳は「いいえ」6名でした。新型コロナウイルスの影響がありました。		新型コロナウイルスの影響で、地域行事の参加が出来なかったため、落ち着いたら、参加をしていきます。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	職員6名、評価の内訳は「はい」6名でした。送迎時や連絡帳を使って支援内容等の状況をお伝えしています。	12名の回答のうち、「はい」が11名「どちらともいえない」が1名でした。	現状の報告等を継続していくほか、疑問等を含め丁寧に対応していきます
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	職員6名、評価の内訳は「はい」5人で「どちらともいえない」が1名でした。	12名の回答のうち「はい」11名で「どちらともいえない」が1名でした。	今後もご家族様と課題やニーズを共有しながら、放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	日常的な面での簡単なアドバイスや質問にお答えしています。	12名の回答のうち「はい」が4名で、「どちらともいえない」が2名で「わからない」が6名でした。	専門知識を身につけて、保護者様に適切なアドバイスや知識を提供が出来る様に努めていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	職員6名、評価の内訳は「はい」6名でした。	12名の回答のうち「はい」12名でした。	児童の課題やニーズを保護者様と共有して支援をしていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者様からの相談や悩みをお聞きした際には、真摯にお答えしています。	12名のうち「はい」11名で「どちらともいえない」が1名でした。	保護者様からの相談や悩みは、今後も真摯にお答えしていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現状としては、新型コロナウイルスの影響もあり、行えてはいません。	12名のうち「はい」は2名「どちらともいえない」が1名「いいえ」は5名「わからない」は4名でした。	新型コロナウイルスが落ち着いたら、保護者様からのご意見をお聞きして進めたいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	その場で謝罪し、問題解決に迅速に対応をし、再発防止に努めています。	12名のうち「はい」11名で「わからない」が1名でした。	保護者様からのご意見に迅速に対応する様に心がけていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	職員6名、評価の内訳は「はい」6名でした。	12名のうち「はい」11名で「わからない」が1名でした。	保護者様との意思の疎通や情報共有を大切に支援をしていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	利用者間のみ2カ月に1回通信を配布の他、週に1度インスタグラムで活動等をご紹介させていただいています	12名すべての保護者様から「はい」の回答をいただきました	今後もお子様の活動が、保護者様にわかる様に、情報を発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱い際には、ダブルチェックを行っています。	12名すべての保護者様から「はい」の回答をいただきました	今後も個人情報の取り扱いには、十分注意して参ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは目に見える場所に置いてあります。	12名のうち「はい」8名で「どちらともいえない」が2名「いいえ」1名「わからない」が1名でした。	定期的な勉強会を設けて、周知徹底を心掛けていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害を想定をした避難訓練を定期的に行っています。	12名のうち「はい」9名で、「わからない」が3名でした。	今年度については4月に避難訓練を行う予定です。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1回程度「虐待研修」として行っている		年1回の定期研修の他、新しい職員の入職のたび全職員(可能な限り)再確認のため研修への参加
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束を必要とする重度の児童は利用されていない。		現在は対象者はおりません。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、食物アレルギーをお持ちの児童の利用登録はない		利用開始前の聞き取り、アセスメント時に確認させていただいています
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	適宜話し合いの機会を設けています。事業所内の他、系列事業所とも共有し再発防止のための会議を行っている		今後も継続し事故等の発生を防止できるようにしていきます